



平成 28 年度

小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



平成 29 年 5 月

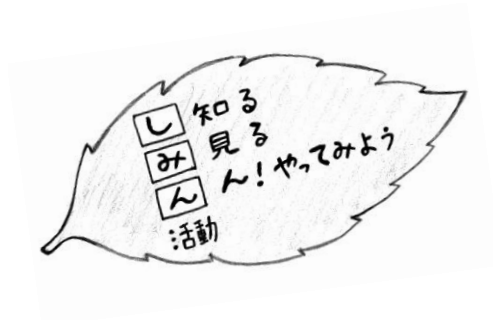
小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者

特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク





NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO
しる みる ん! やってみよう しみんかつどう
NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO



平成28年度 小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告



■平成 28 年度事業全体報告

平成 28 年度は、NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者となって 7 年目の年でした。登録団体数は、120 団体から 115 団体となり、年間の利用者数は 3 月中旬で 1 万人弱でした。また、電話や窓口での相談件数は、月平均 8 件ほどありました。あすぴあ最大のイベント、NPO フェスタは、会場の広さから募集団体数を 60 と限って実施しました。

あすぴあ宛てに届く助成団体からの手紙、メール、チラシの種類もさらに増え、チラシの部数が多い場合には、あすぴあ登録団体を中心に情報を送るようにしています。

市民活動発展の可能性を探るために、市内の市民活動団体と自治会・町会、商店会、大学・学校などが、まちづくり・居場所づくり・防災等々の社会貢献活動を行ったかどうかの調査を行い、報告書をまとめました。

2 月にはフェイスブックを公開しました。

あすぴあ 利用状況 報告

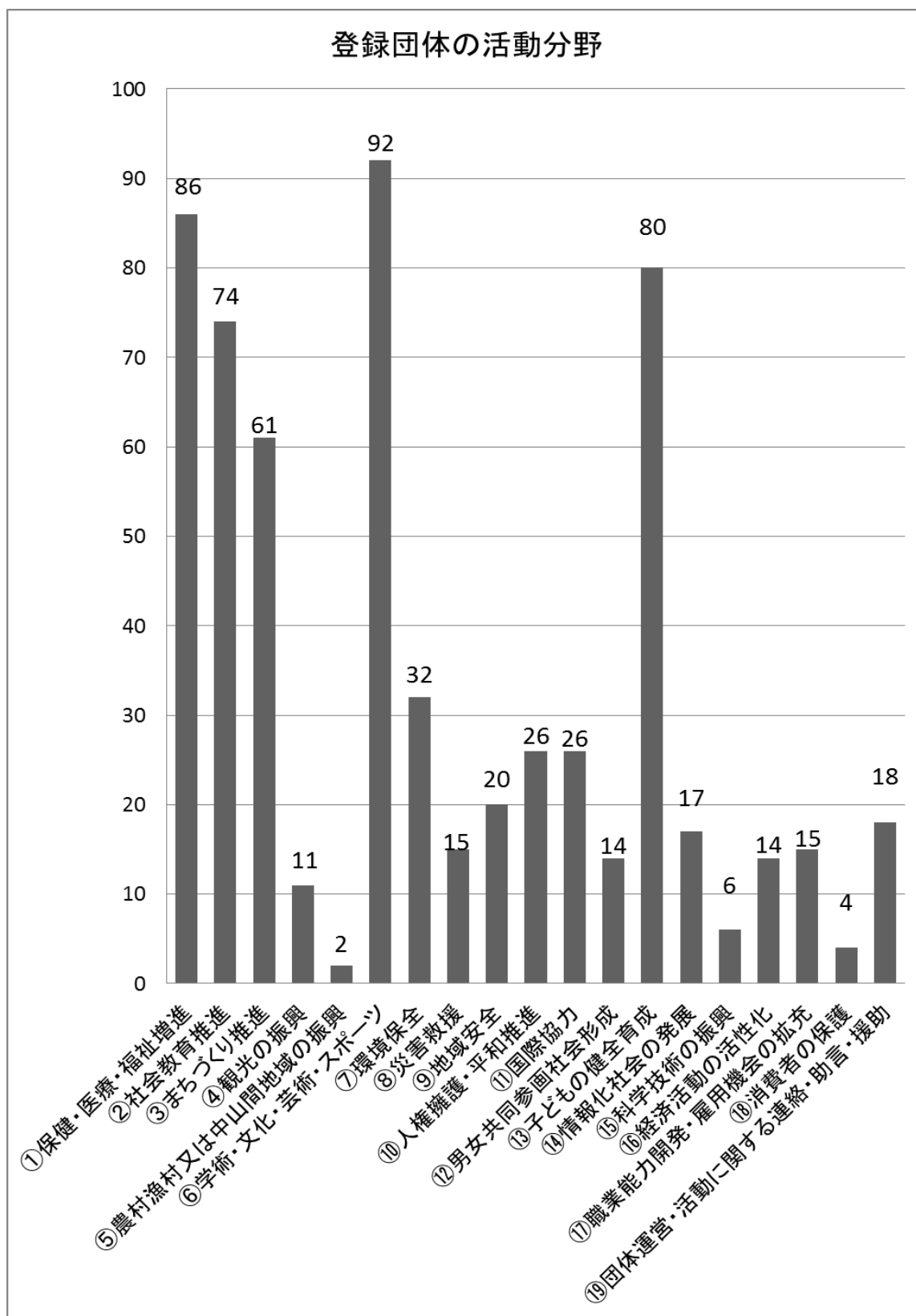


あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
18	H22		小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえin元気村

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会「ひだまり」
38	H22		少年少女キャンプ村 小平・西東京
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第1団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人／つむぎ	社会福祉法人つむぎ おだまき
54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所
63	H23		小平市グラウンドゴルフ協会
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃの病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		むさしの会
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべリー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		朗読小平教室(ひびき)
81	H24	特定非営利活動法人	MYstyle@こだいら
82	H24	特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
84	H24		きらめきナイト
85	H24		楽遊会
86	H24		たまり場フォーティワン
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
88	H24		子ども∞幸せ円卓会議inこだいら
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平断酒会
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援 飛行機雲
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会

102	H24		こだいら菜の花プロジェクト
103	H25		ママさんバンドサウダージ
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
108	H25		平和のための戦争展・小平
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana(さ～な)
112	H25		安心安全ウォークネット罫
114	H25		親子でグッドコミュニケーション ラ:ピース
115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25		終活を考える会 小平
117	H25		点字の会「てんとう虫」
118	H26		小平市子ども文庫連絡協議会
119	H26		LPG
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 萩山・小川の会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
124	H26		きらきらカフェ
125	H26		ブルーベリーパラダイス
126	H26		みんながみちるプロジェクト
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークルピッコロ
135	H26		こだいら国際協力プロジェクトSeed
136	H26		3. 11に学ぶ小平の減災を考える会
137	H27		小平井戸の会
138	H27		小平 市民後見を考える会
139	H27		玉川上水ストーリーテラーズ
142	H27		世界の歴史を学ぶ会
143	H27		憲法カフェ
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
147	H27		ごはん＆小麦の幸せ時間
148	H27		ここぶらっと
150	H28		小平ジュニアバドミントンクラブ
151	H28		小平市民まちづくり互助会
153	H28		小平市テニス協会
154	H28		スペースまる
155	H29		すいよう会
156	H29		小川体操
157	H29		Koi (こい)の会
平成28年度末 あすぴあ登録団体数 115			

あすびあ登録時には、団体の活動分野に関する書類の提出を求めています。ひとつの団体で複数の活動をする場合は、複数の分野にしるしをつけます。グラフを見ると、どの分野にも表示があって市民活動の多様性がわかり、興味深いものがあります。平成 28 年度は⑥学術・文化・芸術・スポーツの分野が伸びが大きく、⑤農業に関わる団体が減ったのが特徴です。また、中間支援の団体が増えたのも特徴でした。





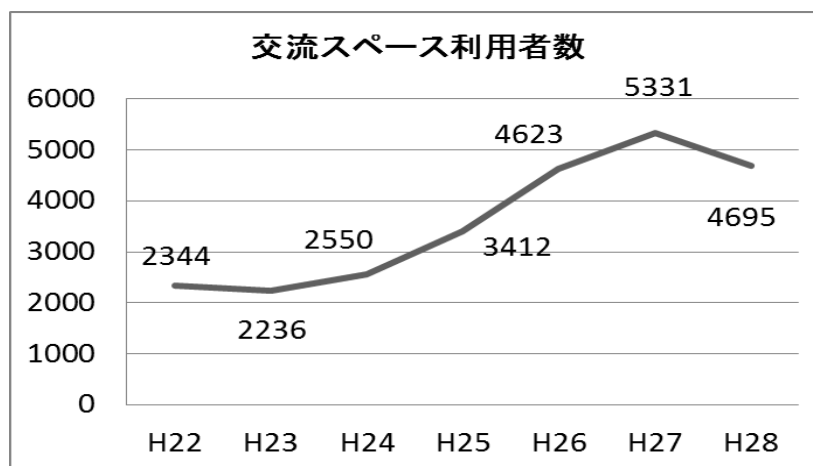
年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	人数
2016/04	25	115	13	220	16	55	8	390	37	374	48	422	812
2016/05	22	123	14	151	12	70	9	344	35	293	21	314	658
2016/06	26	124	14	196	17	94	9	414	40	422	26	448	862
2016/07	26	172	14	271	19	60	5	503	38	353	30	383	886
2016/08	25	103	10	187	15	31	2	321	27	358	26	384	705
2016/09	24	123	13	223	15	30	3	376	31	314	44	358	734
2016/10	26	300	16	437	18	60	4	797	38	411	149	560	1,357
2016/11	23	126	13	179	14	76	5	381	32	330	28	358	739
2016/12	23	125	13	257	16	52	5	434	34	318	22	340	774
2017/01	23	127	15	276	18	50	4	453	37	334	10	344	797
2017/02	23	96	12	208	16	51	5	355	33	325	22	347	702
2017/03	26	117	14	219	16	58	4	394	34	386	51	437	831
合計	292	1,651	161	2,824	192	687	63	5,162	416	4,218	477	4,695	9,857

1年間の利用者数は9,857人。そのうち交流スペース利用者数は4,695人。1か月平均10人から15人の利用がありました。(フェスタ開催の10月を除く)

小平元気村おがわ東の複数の施設やセンターへ来た人たちが、あすぴあにまで足を延ばして休んでいく姿がよく見られました。また、元気村で働く人たちが休憩したり、新聞や市報を取りに来たり、昼休憩にお弁当を食べて帰ったりしました。小さなお子さん連れの人たちの利用も結構ありま

した。元気村の屋外広場、萩山グラウンドを利用した団体も活動後の打ち合わせや休憩に使ったりしました。利用する人たちは、休みながらチラシを見たり、団体紹介展示を見たり、本や新聞を見たりしました。「静かで落ち着くから」という利用者の声が表すように、あすぴあは毎日、市民のみなさんに利用されてきました。

昨年11月から今年3月まで2階で、子ども家庭支援センターの相談室へ改装するための工事がありました。



会議室は、午前、午後、夜間と分けて利用申込みを受け付け、それぞれを1コマと呼びます。つまり、1日に3コマあることになります。

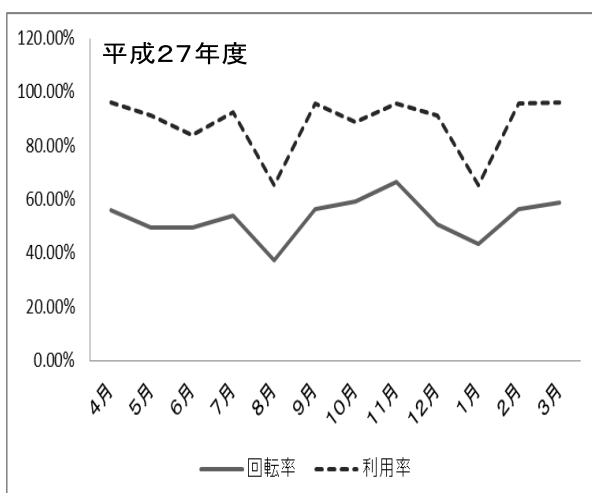
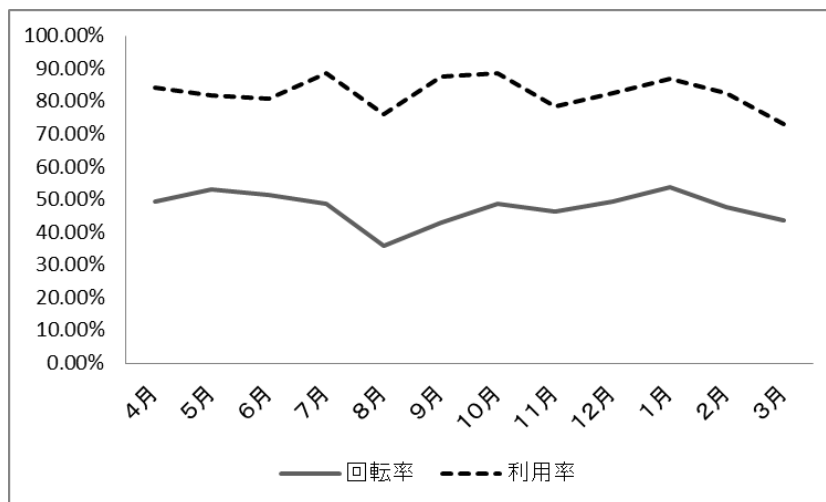
右の表は月別の利用率と回転率を表わしています。

利用率とは利用日数を開館日数で割ったものです。例えば、4月は25日間開館して利用日数は21日です。

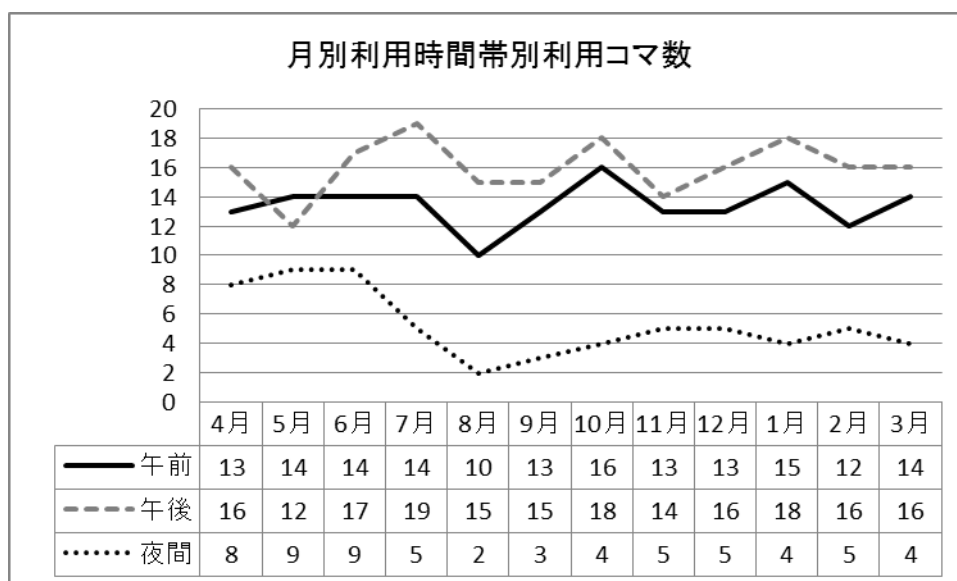
$21 \div 25 = 0.84$ となるので、利用率は84.0%となります。

回転率とは、利用コマ数を利用できる全コマ数（開館コマ数）で割ったものです。例えば、4月は37コマの利用があり、全コマ数は75。 $37 \div 75 = 0.493$ となるので、回転率は49.3%となります。

会議室利用率・回転率						
年月	利用 日数	開館 日数	利用率	利用 コマ	開館 コマ数	回転率
2016/04	21	25	84.0%	37	75	49.3%
2016/05	18	22	81.8%	35	66	53.0%
2016/06	21	26	80.8%	40	78	51.3%
2016/07	23	26	88.5%	38	78	48.7%
2016/08	19	25	76.0%	27	75	36.0%
2016/09	21	24	87.5%	31	72	43.1%
2016/10	23	26	88.5%	38	78	48.7%
2016/11	18	23	78.3%	32	69	46.4%
2016/12	19	23	82.6%	34	69	49.3%
2017/01	20	23	87.0%	37	69	53.6%
2017/02	19	23	82.6%	33	69	47.8%
2017/03	19	26	73.1%	34	78	43.6%
合計	241	292	82.5%	416	876	47.5%



回転率・利用率は、例年そうですが、8月・12月に低くなり、気候のよい春や秋に高くなります。ところが、今年は8月と11月が低くなり、折れ線もさほど鋭角にならないことから、減少の度合いが小さくなっていることがわかります。11月の利用が減り、1月の利用が逆にふえています。2月・3月の利用も昨年ほどの利用はありませんでした。グラフの線がなだらかな様子を見ると一定の利用がみられた年でした。



平成 28 年度の月別に午前・午後・夜間の会議室利用コマ数のデータをグラフで示しました。一般的に午後の利用が多いように思われますが、グラフでわかるようにそれほど大きな差はありません。夜間の利用は少ないです。

あすぴあの会議室は 1 つしかありませんが、抽選が終了して翌月の 1 日からは空いているコマを選んで利用申込みができます。結構空いている日があります。みなさまのご利用をお待ちしております。

登録団体は印刷機の利用ができます。印刷機は、2 色印刷ができる簡易印刷機を備えています。あくまでも「簡易印刷機」なので、家庭にあるプリンターのようなはっきり見えて、しかもカラー印刷という精度の高さは期待できませんが、デザインや白色だけではなくカラー紙の利用やインクの色の方次第で、多様な印刷物ができます。インクは黒・赤・青・緑の 4 色。各色のドラムを交換することで、黒と赤、黒と青、黒と緑の 2 色印刷の他に、単色印刷も可能です。紙は、団体が持ち込みで用意します。版下 1 枚 50 円。印刷は、100 枚まで 20 円です。

ラミネータの貸出しもしています。シート込みの値段は、A 4 15 円、A 3 30 円。機械が過熱するので、長時間の使用はできません。利用団体からは、文房具店に頼むより安価だと言われています。



ラミネーター



簡易印刷機



あすびあでは、市民活動関連の書籍を中心に幅広く集めています。新着図書は表紙が見えるように配置しました。交流スペースに利用者の本の希望を聞くための箱を設けています。市民活動の定期発行物も含め、市内の図書館にはない本をそろえるように、運営会議で話し合っ購入を決めています。

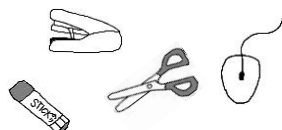


廊下の掲示板は4か所あります。ひとつを「みんなのけいじばん」と名付けて、市民活動団体のみなさん自身がチラシを貼り出す場所としています。助成金情報や公的なチラシを貼る掲示板もあります。その他の項目でも書きましたが、交流スペースの掲示板には、近隣市のコーナーとしてイベントチラシを貼り出しています。近隣市のめやすは、電車に乗って1時間くらいの範囲にあるまちということになります。出掛けてみると、思わぬ発見があるかもしれません。

みんなのけいじばん



定期的に送られてくる地域情報紙、タウン誌、東京ボランティア・市民活動センターの冊子などを丸テーブルに並べています。大阪ボランティア協会の市民活動情報誌『ウォロ』もあります。来訪者に好評で、毎月届く地域情報紙を楽しみにしている人もいます。



文房具の貸し出しもしています。

近隣市
マーク

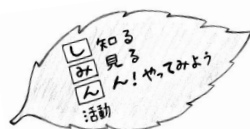


近隣市の
イベント
コーナー

交流スペースには、登録団体の中から希望する団体の展示物を掲示して、活動内容のPRに使う団体紹介展示のコーナーがあります。期間は約1か月。イベントの告知のために使う団体もありました。

登録団体をほぼ一巡したところです。そろそろ新しいコーナーを企画する時期かもしれません。

キャッチコピー



市民活動 パワーアップ 講座



① 組織運営の肝をつかむ 連続4回講座 第1回、第2回

開催日時：8月3日（水）、9月7日（水）
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
参加人数：31人、34人
講師：長田英史さん（NPO法人れんげ舎）

どの市民活動団体も組織としての運営に絶えず悩んでいるといういくつかの声からこの連続講座の企画ができました。

講師は若い世代に人気のある、町田のNPO法人れんげ舎の代表理事、長田英史（おさだて るちか）さんにお願ひしました。第1回目は「会議の仕方 みんなが納得するために」、第2回目は「会員のふやし方 未来の仲間を見つけるために」というタイトルで行われました。評判通りに若い人たちが参加する講座でした。



③ 第3回 思いをカタチにする企画書・申請書の作り方

開催日時：9月30日（金）
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
参加人数：23人
講師：若林朋子さん（プロジェクト・コーディネーター、プランナー）

助成金を受けたいと思っている団体は多いと思います。そこで、企画書と申請書の作り方講座を企画しました。参加者にとっても好評でした。とくにパワーポイントによる説明が見やすくて確でした。



④ 第4回 中長期計画を立て、次の担い手を育てる

開催日時：11月5日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：10人

講師：川北秀人さん（I I H O E 人と組織と地球
のための研究所代表者）

連続講座の最後の回は、NPOの教科書とも言
うべき「NPOマネジメント」を発行した川北さ
んを講師に迎えて開きました。川北さんの希望で
参加者には事前に宿題が出されました。団体で中
長期の計画をたてているか。その中身は何か。と
いうものでした。数年後の目標を掲げ、その実現
に向かって歩む過程で次の担い手を育てていくこ
とが大切だという講師の主旨がよくわかった講座
でした。参加者が少なかったのが残念でした。



スマホでイキイキ市民活動

開催日時：2017年3月4日（土）

開催場所：あすびあ会議室

参加人数：13人

講師：渡辺千鶴子さん（ラララこだいら代表）

スマホを持つ人たちがふえたので、スマホを市
民活動にいかす方法を学ぶ講座を開きました。

対象はパソコンとスマホが使えて、グーグルア
カウントを持っている方に絞りました。



あすぴあ 市民活動 交流サロン



① 「たねを育てよう」を読む

開催日時：4月23日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：18人

昨年度末に出来上がった「市民活動&協働はじめてBOOK たねを育てよう」の作成に関わった公募市民のみなさんと取材先の団体のみなさんとの冊子に興味のある個人が集まって、冊子の内容を中心に話し合いました。この冊子に載ったことが縁で団体同士が知り合い、交流が始まりそうでした。



② あなたにも介護は突然やってくる 仕事も市民活動もつづけるために…

開催日時：12月10日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：12人

ゲスト：渡辺紀夫さん（荒川おやじの会）

小平わかばの会（介護者支援の会）

かずらの会（男性介護者支援の会）

小平市地域包括支援センター中央センター



介護しながら仕事も市民活動も続けるためには、どうすればいいのか。ゲストのみなさんからの話を聞いて情報をふやし、解決方法を見つけしていくサロンを開きました。今まで取り組んでこなかったテーマでしたが、実は身近な問題であることがわかるサロンでした。



③ 庭の時間に気づくとき 市民活動のたねをみつけよう

開催日時：平成29年1月22日（日）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：11人

ゲスト：森田光江さん（森田オープンガーデン）

伊藤絹代さん（うちカフェえん）

高梨孝輔さん（NPO法人小平・環境の会）

人は庭仕事をしている時に素の自分に戻ると言われます。だから、自分に素直になって考えをまとめることができます。このようにして庭にいる時間を持ったゲスト3人が、市民活動について話しました。オープンガーデンの話、自宅でのカフェの話、自宅のできる環境問題解決の手段であるダンボール・コンポストのつくり方の話がありました。

開催日が日曜ということもあって、参加者はいつものサロン参加者とはちがう人たちでした。「庭」と聞いて参加した方もありました。一番若い人が小学生の3世代家族も参加しました。

昨年春に作成した冊子「たねを育てよう」を配付しました。



④ こんなにあるよ市民活動

開催日時：3月25日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：8人

毎年発行している市民活動団体データ集「むすぶ」には230余の団体が載っています。実際にはもっと多種多様な団体が活動しています。それらの中から数団体に声をかけ、興味のある方たちが参加して開かれました。春の花を飾ったテーブルでお菓子と本格紅茶をいただきながら、サロン風に行いました。



NPOフェスタ in元気村2016

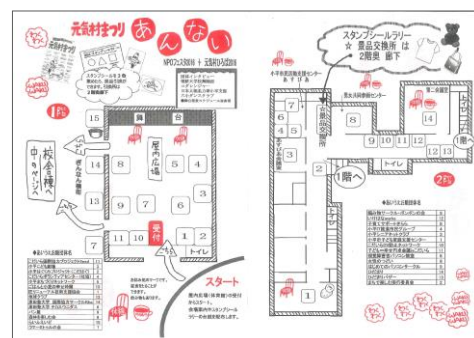
開催日時：10月23日（日）
開催場所：小平元気村おがわ東
参加団体数：64団体
来場者数：980人



NPOフェスタは、実行委員会形式で運営され、毎年来場者数が増えています。中でも、お子さん連れの人たちが多く来るようになりました。学校公開週間と同時期にならなかったため、近くの小学校の子ども達が早い時間から保護者と一緒に会場に来ていました。

市民活動の見本市に相応しく、参加団体の展示は、毎年工夫が凝らされ、「展示物のつくり方の腕があがった」という声があちこちで聞かれました。舞台では朝鮮舞踊や太極柔力球の実演、団体紹介のインタビューなどがありました。外では、グラウンドを使った団体の体験教室やF C東京のキックターゲットなどがありました。

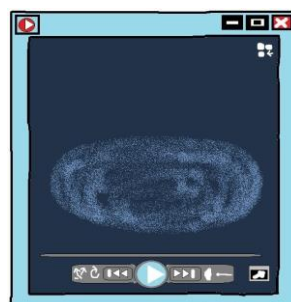
今年度も災害時に利用する発電機を電気ポットやホットプレートにつないで使ってみました。災害時に作動するかどうかの実験でもあります。また、前年同様に音響設備を借りて使いました。これで屋内広場の音の問題が解決しました。



プログラム



萩山西交差点の角に道路占用許可をとって、大看板を立てました。



今年も動画をつくり、ホームページに載せました。音楽もつけて上映時間は約1分間。他に3分間動画もつくりました。

あすぴあ通信
市民活動団体データ集
『むすぶ』

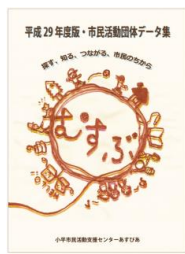
『小平の市民活動団体と
地域諸団体との連携・協力
実態調査報告書』

あすぴあ通信は今年度から年6回の定期発行になりました。市内の公共施設のほか、7つの西武線の駅の市報ボックスにも置いています。バックナンバーをご希望の方には送付しています。多摩地域の市民活動支援センターや東京ボランティア・市民活動センター、23区区役所の担当課にも送っています。

広報部会が、主にあすぴあ登録団体を取材して記事を書いて載せています。今年は社会の動きにも対応した紙面づくりをした年でした。例えば、こども食堂や18歳選挙権の特集記事を載せました。特に、こども食堂を特集した号は残部が10数部となりました。

市民活動団体データ集『むすぶ』は、窓口でも公共施設でも持ち帰る人が年々増えています。継続して作成してきたことが、市民活動団体データ集と市民活動支援センターあすぴあの存在を市民のみなさんに知らせることになり、ひいては市民活動の活性化につながることでと思います。掲載団体は毎年、市報こだいら11月5日号で募集しています。

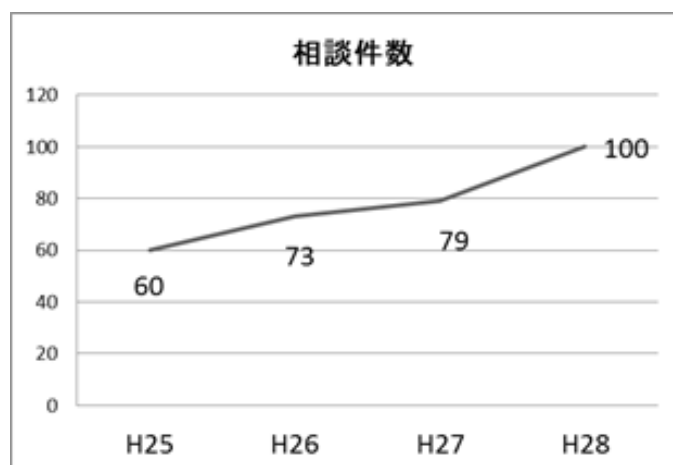
今後の市民活動発展の可能性を探るための実態調査報告書を作成しました。『小平の市民活動団体と地域諸団体との連携・協力実態調査報告書』は、第1段階として市内の市民活動団体へアンケート調査を、第2段階としてアンケートからわかった連携・協力について、相手方の自治会・町会等々にインタビューを行いました。地域や社会の課題はこれからもふえていくことが予想されます。この報告書を手にした市民や市民活動団体から新しい協力の芽が育っていくのではないのでしょうか。A3両面印刷の概要版も用意しました。



なんでも 相談室



市民活動相談は、電話、窓口での相談から相談日を予約する「なんでも相談室」まで様々な形があります。相談の内容は、例えば、NPO法人格をとりたい、団体を立ち上げたばかりで相談したいことがある、活動をひろげたい、というような内容でした。他に、扱いを慎重にしなければならない内容の相談や市の各担当課からの問合せ、他市からの市民活動に関する問合せも多くなった年でした。



利用者 懇談会

開催日時：2月22日（水）

開催場所：あすびあ会議室

参加人数：13人

- ・利用者アンケート集計の報告
- ・団体の活動紹介、質問、懇談

年に1回、登録団体だけではなく、あすびあを利用したことのある団体・個人が集まって懇談する会を開いています。事前に1か月間アンケートを実施して、利用する人たちの声を集め当日の話題にしています。

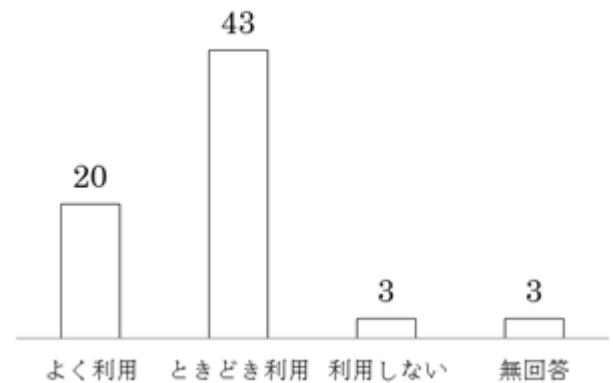
当日出た意見については、利用者懇談会報告書を作成して、次年度のあすびあの管理・運営に反映することにしました。

<<利用者アンケートの集計から>>

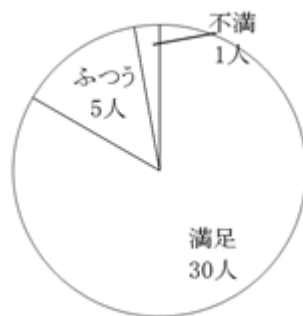
2017.1月～2月

回収総数

n=69



交流スペースの利用



《あすぴあ》からの回答を追記しました。

自由記述から
・あすぴあ図書を利用したい。 《あすぴあ》NPO関連の本があります。貸出期間は2週間。複数冊借りられます。
・会議室の利用時間内に次の予約団体が入室してきて迷惑。 《あすぴあ》廊下に利用中であることを示すラミネートした大きな看板を出して注意を促しています。それでも入室した場合には注意しています。
・他の利用団体が活動している様子を見学できるとよい。 《あすぴあ》窓口でご相談ください。団体の見学は可能です。
・女性4人の年配者が、ノートパソコン1台を囲んで、使い方やいろいろな情報を調べ交流している。あすぴあはとても良い場所をわたしたちに提供してくれている。多くの人たちが、こういう場所を知って使い合えるとよい。 《あすぴあ》職員一同、一層の努力をしていきます。
・「交流スペース」はいつも利用している。仲間とコーヒーを飲みながら語り合い、たまには一人で読書をしています。気楽に利用できるこの場所を市民のみなさんが知ってほしいです。市民活動のこと、印刷のことを親切に教えていただき感謝です。小平市を代弁しているような「市民のための場所」と思っています。
・大変役立っていて感謝している。
・誰でもウェルカムな温かな雰囲気がとても好きです。ずっとこのままみんなが頼れる集まれる場所です。講座もなかなか参加できませんが、毎回興味深いテーマ、講師で(企画・運営は大変ですが)続けてもらいたいです。 《あすぴあ》ご利用、ありがとうございます。市民活動を応援していきます。
・大沼町に住んでいます。交通手段がなくて困っています。 《あすぴあ》交通手段に関する活動をしている団体があります。



イベント部会 広報部会 フェスタ部会

市民
参加

あすぴあの事業の大部分は市民参加で行なわれています。春に市報こだいらで募集しますが、年度の途中からでも部会に参加することができます。

■ イベント部会

あすぴあでは市民活動パワーアップ講座と市民活動交流サロンを年に4回ずつ企画・運営しています。毎月、あすぴあ交流スペースで部会を開きました。今年度は団体の運営強化につながるパワーアップ講座を4回連続で実施しました。交流サロンのテーマは多岐にわたり、これまで扱ってこなかった、介護や発達障がいにも関わりました。

■ 広報部会

毎月、交流スペースで部会を開き、あすぴあ通信（年6回発行）の企画・取材・編集をしました。また、あすぴあホームページ、メールマガジン、フェイスブックがよりよいものになるように話し合いをしました。

■ フェスタ部会

毎年10月にあすぴあ最大のイベント、NPOフェスタが開催されます。部会では、ほぼ1年をかけて企画、運営をし、実行委員会形式で行なわれます。実行委員は市報で募集したり、参加団体に呼びかけたりします。フェスタ部会は、フェスタの応援隊です。

運営会議

市民に
よる
会議

あすぴあの運営に関して、各部会の部会長と指定管理者の理事たちが話し合う会議を月1回開きました。

運営会議で議題となった主なもの：

第1回 4月

あすぴあ調査・研究事業について
わかりやすいイベントタイトルとは

第2回 5月

電話の対応について

第3回 6月

あすぴあ図書の購入について

第4回 7月

メールマガジン内の本の紹介文について

第5回 8月

あすぴあ通信の作家作品使用について
メールマガジンの編集方針について

第6回 9月

介護関連サロンの内容について
学園西町地域連絡会防災部会への参加について
年度末アンケートの書式について

第7回 10月

7市・市民活動情報連絡会のテーマについて

第8回 11月

連続講座「組織運営の肝をつかむ」の反省
フェスタ反省会について

第9回 12月

登録団体の会員募集コーナーをあすぴあ通信につくることについて

第10回 1月

フェイスブックページについて

第11回 2月

中央公民館の事業企画委員会出席について

第12回 3月

スマホ講座の反省とHP1日講座について

運営サポート 会 議

公募市民、登録団体、学識経験者などで構成される会議です。オブザーバーで市民協働が出席します。あすぴあは市民活動を支援するところですが、そのあすぴあの動きを支援するのがこの会議です。毎回、忌憚のない意見が出る場です。

平成 26 年度は 7 月、11 月、3 月の 3 回開催されました。



あすぴあの 1 年間の A 3 裏オモテでわかるような事業報告概要版を作成し配付しました。(数字は 2 月までのものです。4 月に入ってから改めて 3 月末の数字を入れた事業報告概要版を作成しました。)

7 月は今年度の事業計画についての報告をしました。11 月は 10 月に終了したばかりの NPO フェスタについての報告とあすぴあ利用の様子ができるように中間報告をしました。3 月は上記の事業報告概要版を見ながら平成 28 年度の振り返りをし、これからのあすぴあについてサポート委員の意見をいただきました。

ホームページ メールマガジン フェイスブック

ホームページの更新は、職員が毎日行っています。日付の変更や会議室利用の更新などです。

近隣市のセンターのホームページもリニューアルしたところがふえました。それらの見せ方を参考にしながら、広報部会での話し合いや運営会議での意見を取り入れ、職員間でも話し合っ、より良いホームページにしていきたいと思っています。

メールマガジンを希望する方へ毎月配信しています。主にあすぴあ主催の講座・サロンの予告や助成金情報、近隣市のイベント、新着図書も載せています。

2 月には以前から準備をすすめていたフェイスブックページを公開しました。センター主催のイベント企画をより早くよりの確に載せる作業を職員がしています。



対外的なこと その他

■東京ボランティア・市民活動センター

年に数回、飯田橋にある東京ボランティア・市民活動センターで開かれる会議に指定管理者の理事長と一緒に出席しました。

子育て世代向けに行ったイベントの報告を東ボラから依頼されたので、イベント部会担当の理事が出向いて発表をしました。東京ボランティア・市民活動センター主催の「中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 実務ステップアップ編」にゲスト出演しました。あすぴあ主催のコミカフェ、フリマ、キャンプで仲間づくりについて説明をしました。事前にチラシ類を40部ずつ宅配便で送りました。

■学園西町地区地域連絡会

昨年に引き続き、NPOに関わる施設として出席しました。地域に関わる、小・中学校の校長、PTA会長、民生・児童委員、商店会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、国際交流協会が話し合いをしました。学園西町の地域では2か所の居場所ができたり、防災部会の立ち上げがあったりしました。また、学校区の範囲で学校と地域の人たちが協力して自転車教室や防災イベントを行うなどの広がりが見られました。

あすぴあとしては主催する講座やサロンの情報を知らせる場でもありました。この連絡会に出席して「あすぴあって何？」と聞かれることもなくなり、お互いの距離が縮まったことを感じました。

■シルバー大学（中央公民館主催）の1日

シルバー大学の「あすぴあ教室」が秋にあすぴあ会議室で開かれました。1日だけ会場を移して市民活動についての説明とこれからの地域のことについて話し合うワークショップがありました。その後、シルバー大学を卒業したメンバーは新しい団体をつくりました。あすぴあの登録団体にもなりましたが、その他の公共施設で集まったり、ボランティア活動をしたということです。



■忘れない 3・11展 2016

平成28年度も中央公民館で行なわれた「忘れない 3・11展」に展示で参加し、交流会にも出席しました。あすぴあに届いた東日本地域の巨大ポスターや東日本大震災関連の催物のチラシを展示しました。今年度はNTTと東京ガスの展示は、わたしたちの生活と密接に関係がある会社だったので知りたい情報でした。



■元気村の防災訓練に参加

毎年秋に、小平元気村おがわ東内にある施設が参加する防災訓練に指定管理者の理事と一緒に出ました。非常階段を使ってグラウンドへ避難したり、人員点呼、消火器の火元当て実習、消火栓のホースの使い方を練習したりしました。

■7市・市民活動情報連絡会

八王子市、三鷹市、日野市、西東京市、府中市、調布市と小平市の7市にある市民活動支援センターが市民活動の情報交換をする会です。昨年まで

は6市でしたが、調布市が入って7市となりました。年に3回ほど開かれ、開催地は持ち回りで開いています。12月には小平が開催地となり、「市民活動で見られた新しい動き」をテーマに情報交換をしました。

■他市の担当者とのつながり

◇武蔵村山市のボランティア・市民活動センターの方があすぴあ講座に参加することがありました。あすぴあの交流スペースを見ながら、「今度、職員を来させます」と話していました。

◇西東京市市民協働センターや他市の市役所の方も講座へ参加することがありました。

◇あすぴあフェイスブック開設に向けて、他市ですでにフェイスブックを立ち上げている稲城市の市民活動支援センターとメールでのやり取りをしました。このことが縁で、センターの方が講座に参加することがありました。

■学生とのつながり

◇嘉悦大学の学生たちがゼミの授業の一貫として、昨年同様NPOフェスタに参加し、アンケート回収や舞台準備などを手伝いました。

◇小平市スカウト協議会の協力で、毎年ボーイスカウトの子どもたちが会場のNPOフェスタの飾りつけやキックターゲット係やパンの販売係、景品交換所係などを手伝いました。

■あすぴあ・公民館・こだいらボラセン・市民協働による地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会（略称AKVS）

昨年度末から始めた、地域のつながりづくり講座の第2回目を実施し、参加者は地域で活動する団体や施設での体験をしました。

■職員研修1（内部研修）

職員からの希望を取り入れ、日常業務の中で疑問に思っていたことを集めてする話し合いを今年も行ないました。

年2回、事業所として課せられている消防訓練もしました。

■職員研修2（外部研修）

職員がそれぞれ興味を持つ領域で外部の施設の講座に参加する研修を行いました。

新しい職員が働き始めた年だったので、東ボラ主催の新人向け講座のうち、「NPOとは何か」を含む一日講座に参加しました。

障がい者差別解消法ができた年でもあったので、福祉がテーマの講座に参加した職員もありました。

■あすぴあ勉強会

昨年度に引き続き毎月1回、職員・指定管理者NPO法人の理事・3部会の部会長・部会員が参加する「あすぴあ勉強会」を毎月行いました。

■「利用の手引き」改訂版増刷

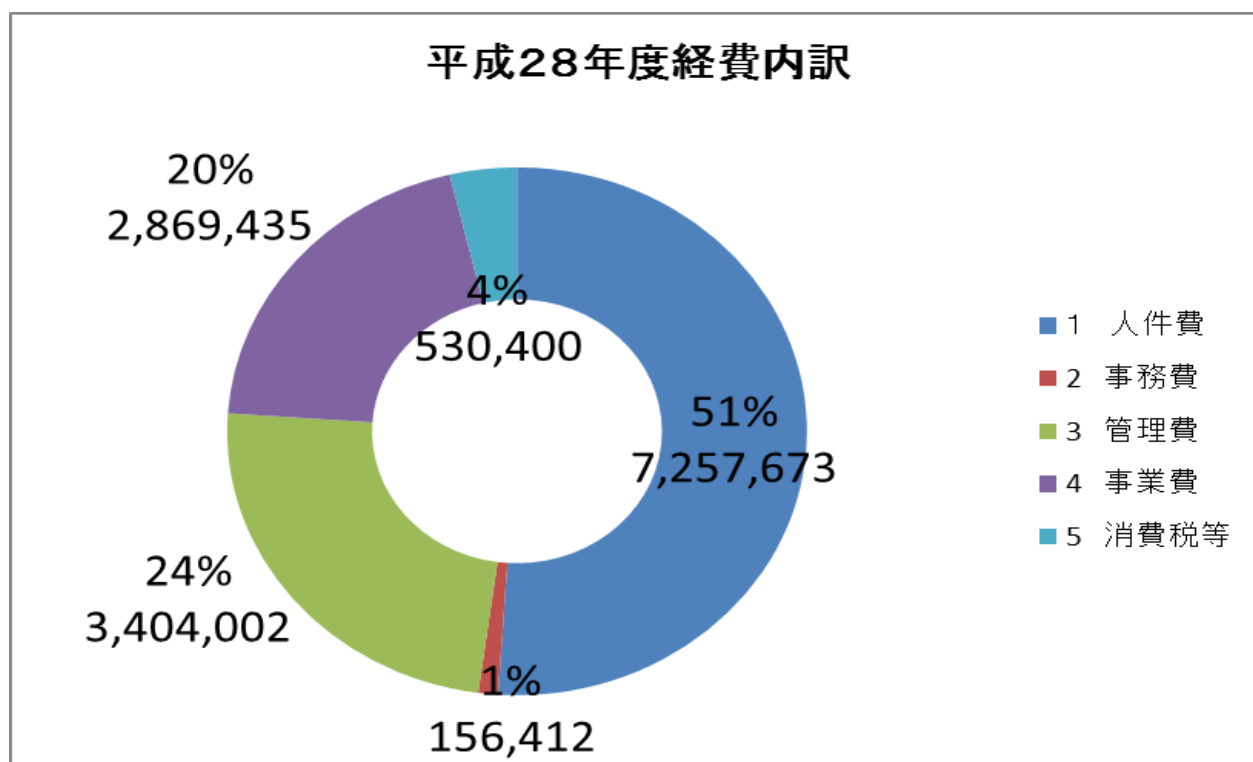


職員間で話し合い、変更点などを反映させた「利用の手引き」の在庫がなくなり、新しく印刷しました。

■その他

- ・あすぴあ通信に掲載された団体の記事を読んで、ほかの団体がその団体の事務所を訪ね、お互いに訪問し合うことがありました。
- ・会議室利用の団体が終了後、第二会議室で開かれていた喫茶ひだまりでお茶を飲んでいました。以上のように、登録団体同士が相手に興味を持って交流することがありました。
- ・藤澤市で2つ目の市民活動支援センター（藤澤市では協働推進センターと呼ぶ）ができたというメルマガニュースが届き、市民活動応援の場所はひとつとは限らないと思いました。利用者アンケートにも支部希望の声がありました。

2016年度収支計算書		
	2016年度実績	備考
収入合計	14,322,689	
指定管理料	14,177,020	
事業収入	4,200	市民活動交流サロン参加費、フェスタ反省・交流会参加費
雑収入	141,469	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	14,217,922	
1 人件費	7,257,673	常駐スタッフ昼間2名、夜間1名
2 事務費	156,412	メール便、文房具、用紙、カラープリンターインク、帳票類 伝票類、受講料、交通費、印紙税、送金手数料
3 管理費	3,404,002	通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、交通費、印刷製本費 コピー機・パソコン等貸借料、保険料、修繕費、 支払い手数料、雑費、一般管理費
4 事業費	2,869,435	情報収集・発信事業費、セミナー開催・講師派遣等事業費、 普及啓発事業費、調査研究事業費 《市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、 NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ》
5 消費税等	530,400	



市民 活動	団体	し	る	φ
団体	資料	み	る	φ
し	み	ん	かう	どう
る	る	かう	どう	☀
φ	φ	どう	☀	☆